

令和4年9月29日14時00分
近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

大型ドローンによる軽量盛土材運搬の見学会を開催します ～近畿地方整備局初の大型ドローンによる軽量盛土材運搬を実施～

大戸川ダム工事事務所では、ダム事業に伴う県道の付け替え工事を実施しており、特に急峻な地形条件においては、軽量盛土を活用した施工を行っています。

これまで軽量盛土材の運搬は、クレーンと人力にて行ってきましたが、今回は他業種でも活躍する大型ドローンを活用することで、作業員の安全確保と工期短縮を図ることができました。

インフラDX（デジタルトランスフォーメーション）として今後さらなる展開も考えられることから、報道関係者向けの現場見学会を開催します。

【開催日時】

令和4年10月5日（水）14：00～15：00

【開催場所】

滋賀県大津市上田上桐生町（付替県道大津信楽線 新8号橋）

【内 容】

大型ドローンによる軽量盛土材運搬の現場見学会（別紙参照）

【取材について】

取材を希望される報道関係の方におかれましては、10月3日（月）17時までに別紙2の見学会申し込み書の事前提出をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催いたします。

<取扱い> _____

<配布場所>近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、大津市政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所

副 所 長 人見 剛（内線204）

工務課長 佐藤 昭史（内線311）

電話 077-545-5675（代表）

大型ドローンによる軽量盛土材運搬の現場見学会

大戸川ダム工事事務所では、ダム事業に伴う県道の付け替え工事を実施しており、特に急峻な地形条件においては、軽量盛土を活用した施工を行っています。

軽量盛土材は車道を支える盛土材であり、1つのサイズが2m×1m×0.5mで40kgの重量があり、一般的には2人1組で人力にて運搬しています。当該箇所では、これまでクレーンによる荷下ろし後は、山岳部で地形の変化があるため、人力による運搬を実施してきましたが、施工性と作業員の安全確保に課題がありました。

そこで、送電線材料運搬等の電力関係工事で活躍している大型ドローンを活用することで、作業員の安全確保と工期短縮が図られることから、土木工事として近畿地方整備局初の大型ドローンによる資材運搬を実施します。

今回の大型ドローンを活用した資材運搬は、インフラDX（デジタルトランスフォーメーション）として今後さらなる展開も考えられることから、報道関係者向けの現場見学会を開催します。

○現場見学会

日時: 令和4年10月5日(水) 14:00～15:00

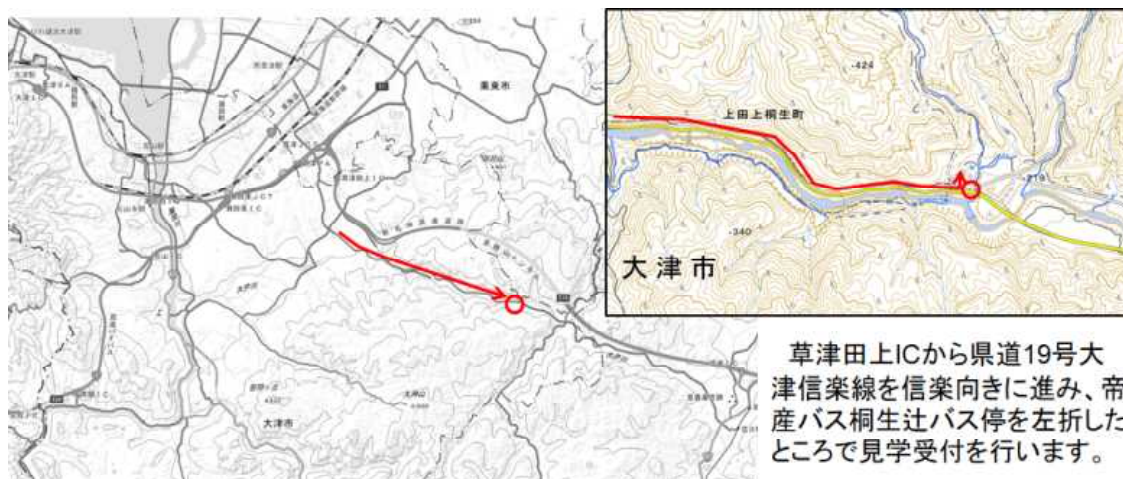
13:30～桐生辻バス停箇所で受付開始

14:00～現地見学説明

14:15～大型ドローンによる資材運搬実演

14:30～質疑応答及び大型ドローン運搬状況等の撮影等

場所: 滋賀県大津市上田上桐生町(付替県道大津信楽線 新8号橋)



○取材について

取材を希望される方は、ヘルメット等の準備のため、事前申し込み制とします。

別紙2の申し込み書に記載いただき、10月3日(月)17時までに事前提出をお願いします。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- ・咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮下さい。
- ・取材中のマスクの着用など、参加される方はご自身で感染予防対策をお願いします。
- ・うがい、手洗いの励行をお願いします。
- ・参加者への感染防止を考慮し、職員はマスク着用等によりご案内させていただきます。

大型ドローンによる軽量盛土材運搬の現場見学会 申し込み書

送信先:国土交通省近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所 工務課

FAX番号 077-545-5839

メールアドレス kkr-otayori-daido@gxb.mlit.go.jp

代表者名	
同行者名	
所属(会社名)	
連絡先(電話)	
連絡先(メールアドレス)	

※天候によって、見学会の予定が変わることもありますのでその際は、申し込みいただいた方に別途連絡させていただきます。

※取材を希望される方は、令和4年10月3日(月)17:00までに、本紙のみをそのままFAX又はメールに添付して送信下さい。なお、お手数ではございますが、FAXについては、送信後の受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡をお願いします。

【受信確認先】

国土交通省近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所 工務課

電話 077-545-5675

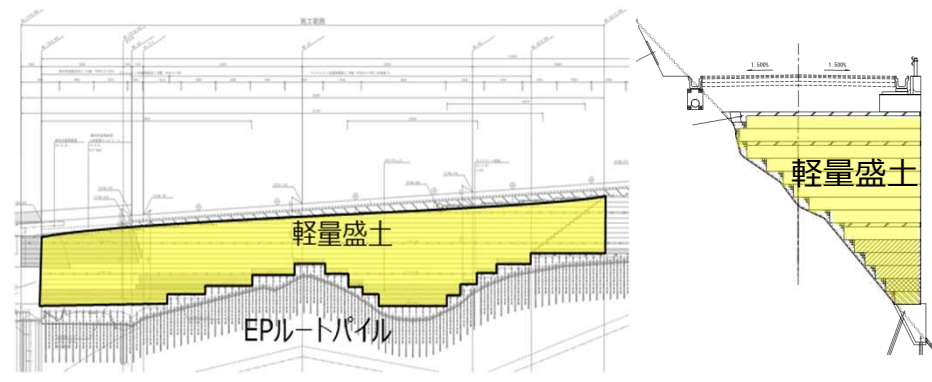
大戸川ダム(大津信楽線工事)におけるドローンの活用

○大戸川ダムで実施している県道大津信楽線の付替工事ではこれまで急峻な山岳部において工事を実施。
 ○転石が多く、工事期間もこれまで長期化しており、作業員の安全確保かつ工期短縮を行うため、他分野で活躍している大型ドローンによる資材運搬を実施。



現施工：当該箇所は転石・玉石が多いため、EPルートパイルを基礎として、その上に軽量盛土を施工。
 EPルートパイルの基礎には階段上になり、ここを人肩運搬で40kg/個の発泡スチロールを人肩で運搬。約2000個程度の運搬が必要であり、階段上に積み上げていく工程上、非常に運搬に時間がかかる。

新施工：大型ドローンで運搬することで、運搬時間の短縮が可能



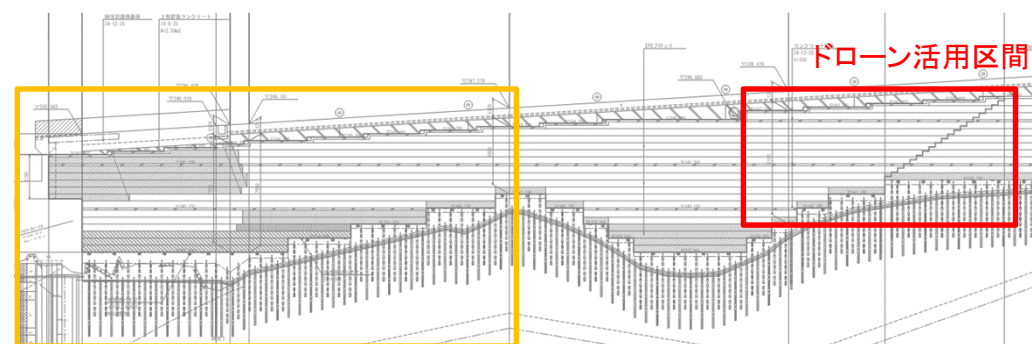
大戸川ダム(大津信楽線工事)におけるドローンの活用

- 県道大津信楽線の付替工事では9/13に大型ドローンによる資材運搬を試行。
- クレーンと並行して作業し、クレーンの届かない範囲への資材運搬は効率的に実施することが把握できてきたため、今回運搬作業として効果の大きい階段部かつクレーンの届かない範囲での資材運搬を実装。

9/13試行状況



- ・これまでは、クレーンの届く範囲に軽量盛土の発泡スチロールを運搬し、平坦部分は台車で運搬。
- ・今後、クレーンが届かず、かつ階段上で積み上げていく部分においては、ドローンを活用した資材運搬を実施。



90tクレーンの届く範囲

- ドローン運搬の会社は、これまで関電の送電線関連の作業に従事。
- ドローンは最大50kg/個までの荷物運搬が可能。

